

タイトル	板づくりの器に絵付けをする			
学校名	千葉県立 白井 高等学校	美術・工芸	氏名	宮崎 浩子
教材費	陶芸全体で一人500円程度		実施時間数	14 時間

1. ねらい

板づくりは、たたら板を使って一定の厚みの粘土板をつくり、型紙を使って形を切り取り、曲げたり組んだりして成形するため、計画的に取り組みやすい技法である。身近で使われている焼き物の形や機能に目を向け、紙で展開図を起こし試作することにより、目的に沿った出来上りをイメージしながら制作させる。

また、装飾として色々な技法の絵付けを取り入れることにより、日本の伝統的な染付けから日常使用している量産食器の装飾まで、さまざまな装飾効果に興味関心を持たせる。

板づくりの制作を通して、焼き物作りの一連の流れと素材の持つ特質を理解させ、身近で役立つ器づくりを体験し、作る喜びを味わう。

2. 材料

粘土：(信楽特練り or 白信楽) ジョイフル本田で購入 特練りは多少粗めなので失敗が少ない。
白信楽はきめが細かく白くてきれい。

絵付け用絵の具：SN・陶芸本焼き絵の具10色セット、陶芸用下絵の具(粉末)〔海へき呉須、古代呉須、黒呉須、茶呉須〕

絵付け道具等：溶き皿、筆各種、スパッタリング用網・ブラシ、マスキングテープ、ニードル、スポンジ、カッターマット、溶き水(ふのり or 茶汁入り)

釉薬：透明釉

3. 展開(時間) 4. 指導上の留意点

内容	時間	生徒の学習活動	教師の指導・留意点
導入 焼き物とは	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本の焼き物の歴史や種類を知り、身近な工芸品に目を向ける。 焼き物の性質と技法および制作工程を理解する。 板づくりの制作手順を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料やビデオなどで焼き物の歴史や種類を紹介する。 板づくりを実演して、材料や条件、技法、制作の手順について説明をする。
展開① 発想・構想 成形準備	3	<ul style="list-style-type: none"> 板づくりの技法を生かし、目的・用途にあったデザインを発想する。 アイデアスケッチ 紙で試作をしながら、実物大の型紙を画用紙で作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本の作品や型紙を用意し、実演をして、デザインを考えやすくする。 目的に沿っているか、板づくりが可能か、型紙で試作させ点検する。 収縮率や粘土の厚みを考慮させる。
展開② 制作：成形 板づくり	4	<ul style="list-style-type: none"> 成形の作業工程を理解する。 固まりから粘土の板を切り出す。 部品を切り、組み立てて接着する。 高台つけ、装飾(彫り、刻印、貼付) 使用後の残り粘土の後始末(水を加えて柔らかくし、荒練りをする) 	<ul style="list-style-type: none"> 最初の粘土は練ったものを用意する。 作業工程を細かく実演する。 粘土の板を作るまでは、班で協力し合って進めさせる。 制作状況を個別に点検する。 作品の保管・乾燥は慎重に行う。
展開③ 制作：下絵付け、釉薬がけ	4	<ul style="list-style-type: none"> 資料・見本を参考に、絵付けのデザインを考え下描きする。 下絵付けの技法を理解し、作品や絵の具の取り扱いに注意しながら絵付けを行う。 釉薬がけの方法を理解し、慎重に釉薬をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統模様等の参考資料と参考作品を用意する。 絵付けの技法を紹介し、実演する。 素焼き作品の取り扱いと絵付けの注意、釉薬がけの技法を指導する。 素焼き・本焼きは、詰め・出しも含め教師が数人の生徒とともに慎重に行う。

まとめ 鑑賞、合評会	1 ・完成した作品は、全体で鑑賞する。 ・使用を想定して手に取ってみたり、実際に使ってみたりして、手作りのよさを感じ取る。	・力作を例にとり、制作者の意図や工夫、美しさや良さを紹介する。 ・必ず持ち帰って使用させ、自己評価プリント等で反省感想を述べさせる。
---------------	---	---

5. 資料・参考文献

絵付けの資料 (プリント)

下絵付け	
① 絵付けの進め方	デザイン→道具・作品準備→素地掃除 (スポンジで水ぶき) →下描き・マスキング等→絵付け
② 絵付けの技法	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨描き ……模様の輪郭を線描きする ……面相筆 2 だみ ……模様の面を塗りつぶす ……彩色筆、だみ筆、平筆 3 吹き墨 ……スパッタリング、ブラシを指で弾く ……網、ブラシ 4 マスキング ……スライプ・市松模様等白抜き面に貼る ……マスキングテープ、彩色筆、平筆 5 ひっかき ……塗りつぶし面をひっかき白抜きにする ……ニードル、彩色筆、平筆
③ 絵付けの注意	<ul style="list-style-type: none"> ・素焼きの作品は、<u>せんべいくらいの硬さ 扱いは丁寧に!</u>ぶつれたり力をかけない ・<u>手の脂X</u> ベタベタ必要以上に触らない ・絵の具の<u>濃さは素焼きの破片に描いて試し、盛り上がらない程度</u>にふのり水で調整する ・絵の具は (特に粉末のもの) 沈殿するので、毎回<u>よくかき混ぜて</u>使う ・<u>絵付けをした場所は触らない</u> (こするととれる) ・<u>裏底には描かない</u> (特にベタ底のもの)

参考作品



2年授業作品 (佐倉、白井)

部活動 (ロクロ) 作品 (佐倉)

参考文献

はじめて作る染め付けの器「炎芸術」特別編集シリーズ焼き物入門 阿部出版

陶芸の染め付け入門 林和一 著 日貿出版社